

【1 分解説】マネージド・フェーズアウトとは？

総合調査部 副主任研究員 牧之内 芽衣

マネージド・フェーズアウト（MPO）とは、温室効果ガスを多く排出する企業の脱炭素化を、投資家や金融機関が資金提供を継続しながら計画的かつ秩序立てて進める手法を指します。

脱炭素社会への移行では、電気自動車（EV）や太陽光発電といった、温室効果ガスを排出しない産業への投資が注目されがちですが、同時に多排出産業の脱炭素化も重要です。MPO では、投資家や金融機関が企業の脱炭素計画の策定や進捗状況をモニタリングしながら資金提供を続ける仕組みをとります。グラスゴー金融同盟（GFANZ）は2022年に「高排出資産のマネージド・フェーズアウト」に関する報告書を発表し、信頼できるMPOのための指針を示しました。

対照的な手法としてダイベストメント（投資撤退）があります。これは多排出企業から資金を引き揚げることで間接的に事業縮小を促す戦略です。しかし、突然の投資撤退により企業の資産価値が急落し、設備が放置されるリスクや、投融資の引き上げにより企業の脱炭素化に向けて影響力を行使できなくなること、気候変動への関心の少ない別の企業に資産が渡ることなど、かえって脱炭素化を遅らせる副作用が考えられます。

ただし、MPOの名のもとに、温室効果ガスを多く排出する企業の無秩序な延命が行われては本末転倒です。そのため、企業側の計画策定や透明性のある情報開示等は必須となり、進捗が不十分な場合にはエンゲージメントの徹底、さらには資金提供の見直しや撤退も視野に入れる必要があります。

資料 マネージド・フェーズアウトを推進する 9 つのアクション

A 信頼性とインセンティブ	1	マネージド・フェーズアウトというアプローチへの期待の醸成
	2	金融機関や企業向けの移行計画ガイダンスやパスウェイへの、マネージド・フェーズアウトの組み込み
	3	GHG排出削減につながるマネージド・フェーズアウトの測定基準と目標の設定
B 資金供給方法の開発	4	資金供給メカニズムに関するガイダンス作成
	5	既存の資金供給メカニズムを超えるイノベーション
C 関連する資産の特定	6	マネージド・フェーズアウトを適用すべき資産を特定するための枠組みの作成
	7	マネージド・フェーズアウトを適用すべき資産を特定するためのツールの開発支援
D 影響力のあるプロジェクトの実施	8	新興国および発展途上国における気候変動対策に向けた民間資金供給促進のためにマネージドフェーズアウトを国別プラットフォームを導入
	9	経済全体の脱炭素化の一環として、マネージド・フェーズアウトを支援する公共政策のアクションを設定

(出所)GFANZ (2022) “Managed Phaseout of High-emitting Assets”

関連レポート

- ・「【1 分解説】ファイナンス・エミッションとは？」(2023 年 6 月)
<https://www.dlri.co.jp/report/1d/253609.html>
- ・「【1 分解説】GFANZ とは？」(2023 年 3 月)
<https://www.dlri.co.jp/report/1d/236747.html>